

●今月のテーマ●

わらうかどにはふくきたる
笑う門には福来る



笑

毎日は楽しいことばかりじゃないけど、笑ってればイヤなこと
も忘れちゃう！今回は読んでいるうちについ吹きだしてしまう
ような面白い本、思わず笑みがこぼれるような本を特集してみま
した。さあ、皆さん、いっぱい笑って福を招き入れましょう！

ことわざの本も・・・昔の人が残してくれた言葉の遺産を味わおう！



『杖ことば
ことわざ力を磨くと
逆境に強くなる』
五木寛之/著
学研パブリッシング
914.6/イツキ



『十二支の
ことわざ事典』
加藤迪男/編
日本地域社会研究所
388

『小さいおじさん』

堀川アサコ/著 新潮社
B913.6/ホリ
*文庫本のため背表紙はホリ
★これは都市伝説の“小さいおじさん”ではなく、孤独な人だけに見える小さいおじさんのお話。千秋とおじさんのコンビで殺人事件の解決に挑むミステリーコメディです。



『鴨川ホルモー』
万城目学/著 角川書店
B913.6/マキ
*文庫本のため背表紙はマキ
★京都を舞台に繰り広げられる“ホルモー”っていったい何？「そんなわけないじゃん」と思いついながらも、ついそのおもしろさにはまってしまいます。



『有頂天家族』
森見登美彦/著 幻冬舎
913.6/モリミ
★天狗、狸、人間が織りなす物語です。個性的なキャラクターが勢揃い！父を狸鍋にしたのは誰なのか。アニメ化もされている人気のある作品です。

『春風亭一之輔の
おもしろ落語入門』

春風亭一之輔/落語
小学館 K/77
★落語の舞台や決まり事を織り込みながら、7本の古典落語を紹介しています。さあ、古典落語の世界へようこそ！



『おつかれっ！
毎日パンダ』

上野で働くパンダズの全記録
高氏貴博/著
飛鳥新社 489
★パンダってこんなに人間くさいポーズをとるのだと感心してしまうくらいクスッと笑える写真集です。



『円卓』

西加奈子/著 文芸春秋
B913.6/ニシ
*文庫本のため背表紙はニシ
★祖父母、父母、三つ子の姉と3世代8人家族で暮らすここは孤独に憧れる小学3年生。独特のテンポや関西弁のセリフで、西加奈子ワールドにどんどん引き込まれていきます。



『ここはボツコニアン』

宮部みゆき/著 集英社
913.6/ミヤベ
★“ボツネタ”が集まってできた、できそこないの国“ボツコニアン”。そこを良い世界に創り変えるため、旅に出るピノとピビの物語です。ゲーム好きな人にオススメ！続編もあります。



『学生時代にやらなく
てもいい20のこと』

朝井リョウ/著
文芸春秋 914.6/アサイ
★大学時代のことや就活について綴った、朝井リョウさんのエッセイです。そのタイトルから堅い本と思いきや、爆笑ポイント満載です。



『お笑い芸人になる方法』

西条昇/著 青弓社 779
★落語家、喜劇俳優、お笑いのプロデュースなどの経験を持つ“お笑い評論家”が書いたズバリ「お笑い芸人になるための本」です。クラスの人気者、人を笑わせることが好きな人は是非参考にしてみてください。



『きょうはマラカスのひ』

クネクネさんのいちにち
樋勝朋巳/文・絵 福音館書店 E/ヒカ
★絵本の最初と最後の表紙の見返しにご注目！クネクネさんのタイツがラインアップされていて思わず、ニヤリ。お友達のパーマさん、フワフワさんにもほっこりします。シュールな笑いをどうぞ。



★「第3回百人一首かるた大会」開催しました！

1月29日(日)午後2時から行われ、15人が参加してくれました。府中多摩かるた会連盟の方々を講師に迎え、模範試合を見た後にミニバトルを体験し大いに盛り上がりました。

★次回のきたまちYAサポーターミーティング

3月19日(日)午前10時から I T ルームAにて

